



i-Reporter

バインダー機能 ご説明資料

Rev1.0.5

2022.04.20

改訂履歴

日付	版	記載ページ	改定内容
2021-01-28	1.0.0 初版	--	初版を発行しました。
2021-06-01	1.0.1	P.6,7,9,10	バインタータイプ「IN:1」の表記を「日報→週報」、「日報→月報」に変更しました。
		P.26	マッピング設定不可のクラスターから録音クラスターを削除しました。
		P47~70	「日報→週報・月報」のバインダー作成手順を追加しました。
2021-07-05	1.0.2	P.35	初期値ファイルの計算式の実行に対応しました。
2021-10-14	1.0.3	P.71	バインダー機能に関する注意事項を追記
2021-12-17	1.0.4	P.46	削除ボタン表示条件を追加しました。
2022-04-20	1.0.5	P.36, P.37	自動帳票作成時に計算式を動作させる設定について追記しました。

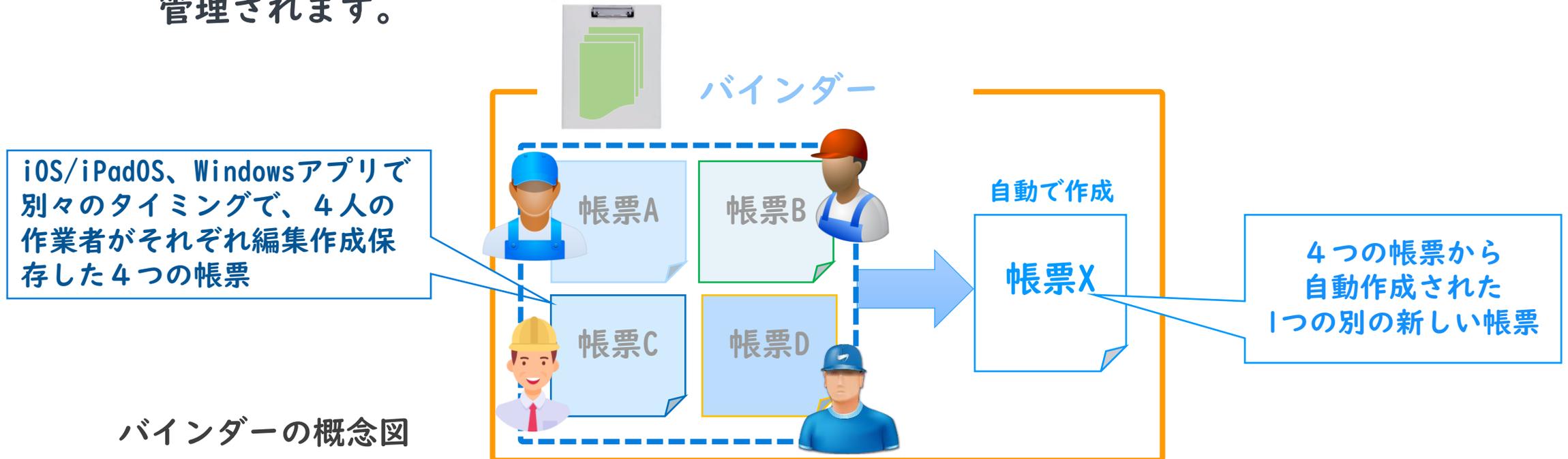
本資料について

- 本資料は、バインダー機能について、以下の2部構成で説明した資料です。
 - バインダー機能の概要
 - バインダー機能のConMas Managerにおける設定方法

バインダー機能の概要

バインダー機能とは

- バインダー機能は、
 - アプリで別々のタイミングで編集作成された複数の帳票の入力結果をもとに、一つの別の新しい帳票をConMasServerで自動で作成する機能です。
 - これらのアプリで編集作成された複数の帳票とそこから作成された一つの別の新しい帳票は、バインダーと呼ばれる括りでまとめて管理されます。



※バインダー機能を使用すれば、大量のページからカーボンコピーを使用して最終ページに各ページの入力情報を集約するような運用が必要がなくなります。

バインダー機能の利用例

- バインダー機能を利用すると以下のような業務が自動化できます。
 - **N:1の場合**
 - 複数人が別々に行った点検業務の帳票から、それらの内容を統合した1つの別のお客様向けの点検結果報告の帳票を自動で作成する。
 - **日報→週報の場合**
 - 毎日作成される作業日報の帳票から、それらの内容を集計した1つの別の作業週報の帳票を自動で作成する。
 - **日報→月報の場合**
 - 毎日作成される作業日報の帳票から、それらの内容を集計した1つの別の作業月報の帳票を自動で作成する。

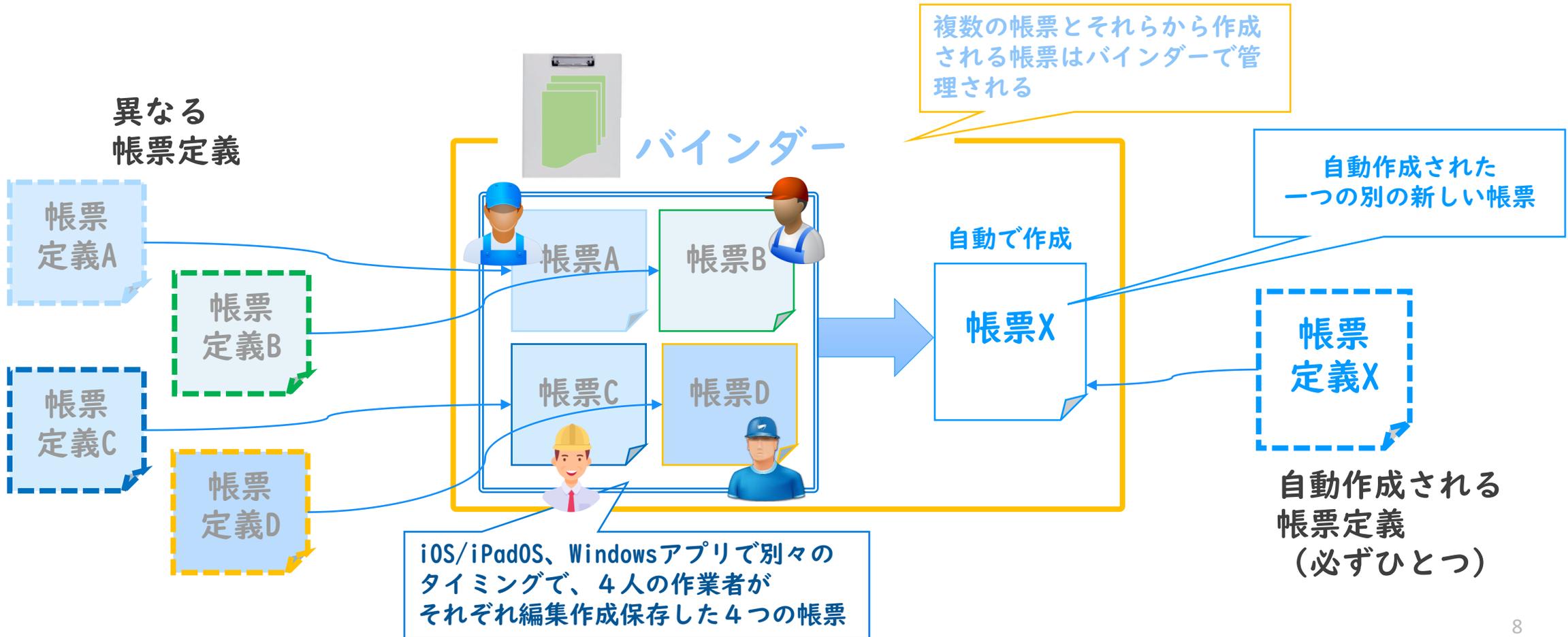
バインダーの種類：バインダータイプ

- バインダーには、その作成のパターンから以下の2つの種類があります。
 - これらの種類をバインダータイプといい、以下の名称で呼びます。
 - **N:1**
複数の異なる種類の帳票 → 1つの別の新しい帳票を作成
 - **日報→週報**
複数の同じ種類の日報帳票 → 1つの別の新しい週報帳票を作成
 - **日報→月報**
複数の同じ種類の日報帳票 → 1つの別の新しい月報帳票を作成

※ 「異なる種類」：異なる帳票定義で作成された帳票
「同じ種類」：同じ帳票定義で作成された帳票

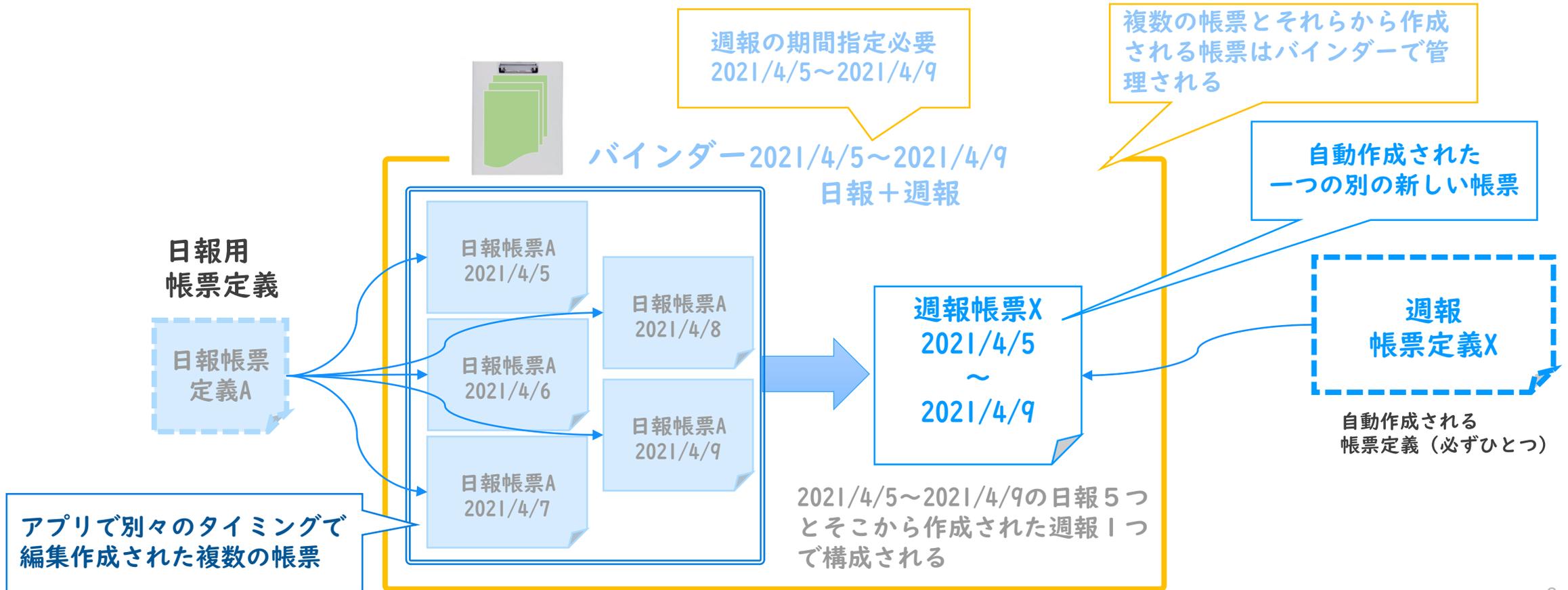
N:1の概念図

- 複数の異なる種類の帳票 → 1つの新しい帳票を作成
 - 複数の帳票定義とひとつの帳票定義の組み合わせ



日報→週報・日報→月報 の概念図

- 「日報→週報・日報→月報」は、週報、月報を作成するための専用機能です。
- 同じ種類の複数の帳票から、1つの新しい帳票を作成します。



N:1バイインダーの使用手法

N:1バインダーを使用する手順

■ 手順 1

- ConMas Managerで バインダー機能を使用するために権限設定を行う。



■ 手順 2

- ConMas Managerで N:1バインダーマスターを作成する。
(編集・コピー・削除)



■ 手順 3

- ConMas Managerで N:1バインダーマスターから
N:1 バインダーを作成する。

手順 1

ConMas Managerで
バインダー機能を使用するために
権限設定を行う

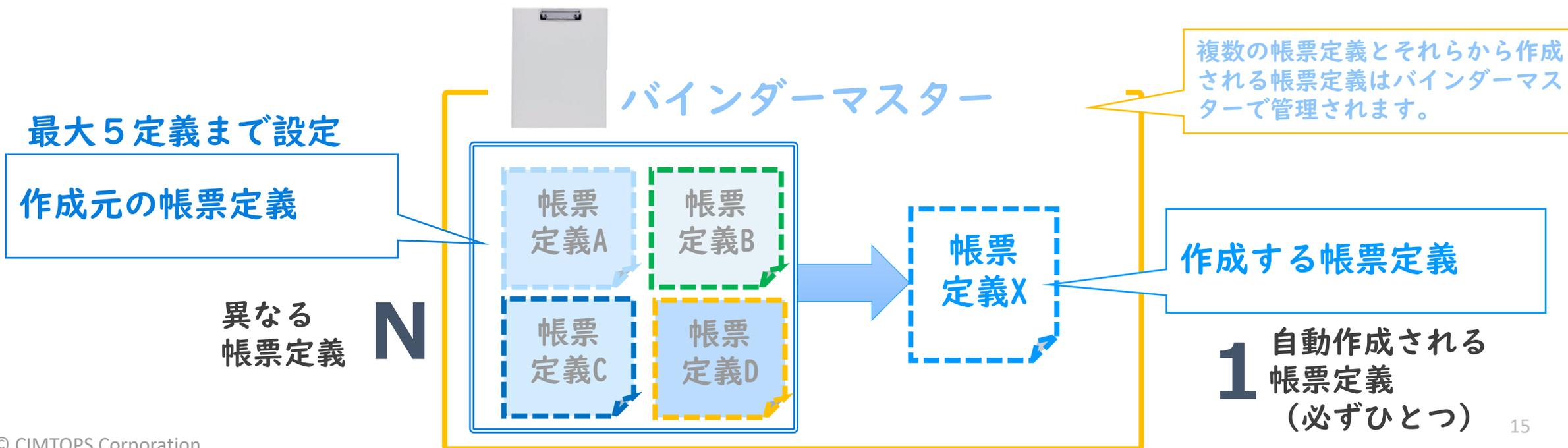
手順 2

ConMas Managerで

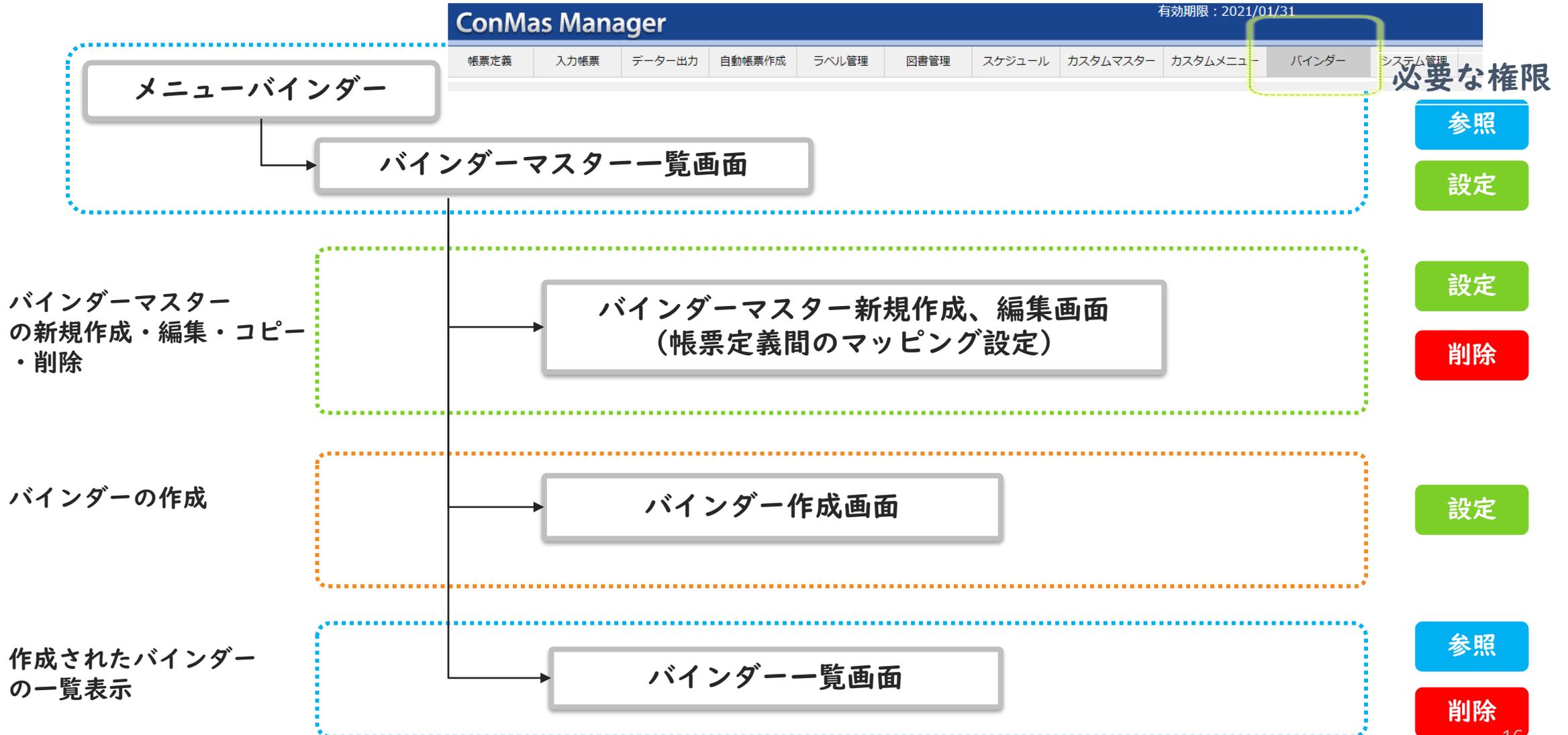
N:1バインダーマスターを
作成する (編集・コピー・削除)

N:1バインダーマスターの作成

- N:1バインダー機能を利用するには、最初に、N:1バインダーマスターの作成が必要です。
- N:1バインダーマスターは、作成元の帳票定義とこれらから自動で作成する帳票定義の組み合わせで構成されます。
- N:1バインダーマスターからN:1バインダーが作成されます。



Managerバインダーの画面構成と必要権限



バインダーマスター一覧

メニューからバインダーをクリックすると登録済のバインダーマスターの一覧が表示されます。

表示される情報

- ID:バインダーマスターID バインダーマスターを一意に特定する1以上の整数値です。
- バインダーの作成: バインダーマスターから実際の入力に使用される帳票(N個の作成元帳票)、それらから作成される帳票ひとつと、これらをまとめるバインダーを作成します。
- バインダーマスター名: バインダーマスターの名称です。バインダーマスター作成時に任意に設定できます。
- タイプ: 設定されているバインダーのタイプを表示します。※現段階では、N:1のみ。

登録日時: バインダーマスターを最初に作成登録した日時を表示します。

登録者: バインダーマスターを最初に作成登録したユーザー名称を表示します。

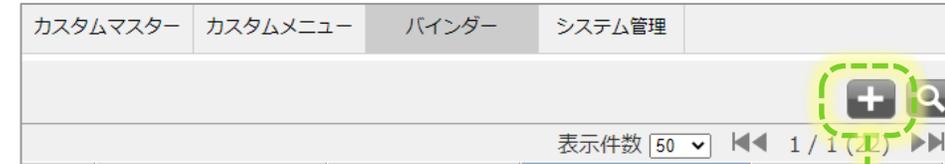
更新日時: バインダーマスターを最後に更新した日時を表示します。

更新者: バインダーマスターを最後に更新したユーザー名称を表示します。

ID	バインダーの作成	バインダーマスター操作	バインダーマスター名	タイプ	登録日時	登録者	更新日時	更新者
37	作成	編集 コピー 削除	JMデモ用	N:1	2021/01/26 14:38	yoshida	2021/01/26 14:38	yoshida
30	作成	編集 コピー 削除	いろいろいじる	N:1	2021/01/25 13:43	karakama	2021/01/26 10:48	karakama
36	作成	編集 コピー 削除	秋田テスト5	N:1	2021/01/26 10:04	akita	2021/01/26 10:05	akita
35	作成	編集 コピー 削除	作成査閲承認hiroura	N:1	2021/01/25 17:15	廣浦	2021/01/25 17:15	廣浦
34	作成	編集 コピー 削除	作成査閲承認_公開版	N:1	2021/01/25 17:00	karakama	2021/01/25 17:00	karakama
33	作成	編集 コピー 削除	作成査閲承認コピー	N:1	2021/01/25 16:49	廣浦	2021/01/25 16:49	廣浦
32	作成	編集 コピー 削除	作成査閲承認	N:1	2021/01/25 16:36	karakama	2021/01/25 16:48	karakama

N:1バインダーマスターの新規作成

- バインダーマスター一覧画面の左上にある **+** ボタンをクリックします。
- バインダーマスター作成画面が表示されます。
- バインダーマスター名：名称を設定します（必須）。
- 作成する帳票の編集ステータス
 - 自動作成される時の帳票の編集ステータスを設定します。
 - 編集集中にする（既定）：編集ステータスを編集集中にします。承認クラスターがある場合は、承認待ち、差戻しに自動で変更します。
 - 作成元の帳票をすべて完了したら完了にする：作成元の帳票すべてが完了になっていれば、それらから作成する帳票も自動で完了にします。
 - **要注意：作成する帳票に計算式時刻計算クラスターがある場合は、完了設定はできません。アプリでこの帳票を起動し、計算式時刻計算の処理を動作させ完了保存する必要があります。**



作成元の帳票定義の選択

- 作成元の帳票定義を選択ボタンをクリックします。
- 帳票定義の一覧が表示されます。ここからN:1 のNに該当する作成元の帳票定義を選択します。
 - 最大5つの帳票定義を選択できます。
 - 対象とする定義を（複数）チェックし、 選択ボタンをクリックします。
 - 選択を解除する場合は、 外すボタンをクリックします。

帳票定義 | 入力帳票 | データ出力 | 自動帳票作成 | ラベル管理 | 図書管理

N:1 | 帳票間のマッピング設定

バインダーマスター名:

作成する帳票の編集ステータス: 編集中にする 作成元の帳票を全て完了したら完了にする

作成元の帳票定義を選択

戻る

ラベル検索: 検索

公開 シート セット ブック

表示件数 20 1 / 28

ID	定義名称	元ID	REV	自動	登録日時	登録者	更新日時	更新者	
<input checked="" type="checkbox"/>	1465	iot_tanitsu_yano_Timer_Multiple_Sheets_iot	1464	2	対象外	2021/01/27 13:28	yano	2021/01/27 13:28	yano
<input checked="" type="checkbox"/>	1463	録音キーボード	1460	4	対象外	2021/01/26 15:44	yano	2021/01/26 15:44	yano
<input checked="" type="checkbox"/>	1459	テスト定義1 初回保存時 備考/システムキーコピー akt	1457	2	対象	2021/01/26 11:37	akita	2021/01/26 11:37	akita
<input type="checkbox"/>	1458	先A バインダー機能	1441	5	対象	2021/01/26 10:51	karakama	2021/01/26 10:51	karakama
<input checked="" type="checkbox"/>	1437	不具合報告&品質対策シート 初回保存時 akt	703	11	対象	2021/01/25 11:48	akita	2021/01/26 10:32	akita
<input checked="" type="checkbox"/>	1452	作成査閲承認_hiroura (元) 設定してある備考1→かえる ひろーら	1452	1	対象外	2021/01/25 17:13	廣浦	2021/01/26 09:27	karakama

作成する帳票定義の選択

- 作成する帳票定義を選択ボタンをクリックします。
- 帳票定義の一覧が表示されます。ここからN:1の1に該当する作成する帳票定義を選択します。
 - 対象とする定義を、ひとつのみチェックし、選択ボタンをクリックします。
 - 選択を解除する場合は、外すボタンをクリックします。

帳票定義 | 入力帳票 | データ出力 | 自動帳票作成 | ラベル管理 | 図書管理 | スケジュール | カスタムマスター | カスタムメニュー | バインダー | システム管理

N:1 | 帳票間のマッピング設定

バインダーマスター名:

作成する帳票の編集ステータス: 編集中にする 作成元の帳票を全て完了したら完了にする

作成元の帳票定義を選択 → 作成する帳票定義を選択

ラベル検索: 検索

表示件数 20 | 1 / 28

<input type="checkbox"/>	ID	定義名称	元ID	REV	自動	登録日時	登録者	更新日時	更新者
<input type="checkbox"/>	1465	iot_tanitsu_yano_Timer_Multiple_Sheets_iot	1464	2	対象外	2021/01/27 13:28	yano	2021/01/27 13:28	yano
<input type="checkbox"/>	1463	録音キーボード	1460	4	対象外	2021/01/26 15:44	yano	2021/01/26 15:44	yano
<input type="checkbox"/>	1459	テスト定義1 初回保存時 備考/システムキーコピー akt	1457	2	対象	2021/01/26 11:37	akita	2021/01/26 11:37	akita
<input checked="" type="checkbox"/>	1458	先A バインダー機能	1441	5	対象	2021/01/26 10:51	karakama	2021/01/26 10:51	karakama
<input type="checkbox"/>	1437	不具合報告&品質対策シート 初回保存時 akt	703	11	対象	2021/01/25 11:48	akita	2021/01/26 10:32	akita
<input type="checkbox"/>	1452	作成査閲承認_hiroura (元) 設定してある備考1→かえる ひろーら	1452	1	対象外	2021/01/25 17:13	廣浦	2021/01/26 09:27	karakama
<input type="checkbox"/>	1453	作成査閲承認_hiroura (先) 後から編集先定義 ひろーら	1453	1	対象外	2021/01/25 17:13	廣浦	2021/01/26 09:25	karakama

選択 外す

ラベル検索: 検索

1-57/1(57)

ラベルなし

- バインダー説明用
- QAチーム
- バインダー機能
- 録音クランター
- iOS
- Win
- 機能
 - 小数点以下桁数
 - 音声
- Manager
 - バインダーとか録音とか
 - COM様
 - 自動採番
 - 備考1

作成元と作成する帳票定義の表示

それぞれ設定を行うと、作成元の帳票定義を選択 作成する帳票定義を選択ボタンの下に選択した帳票定義の帳票定義IDと帳票定義名称が表示されます。

帳票間でのクラスターのマッピング設定

■ 作成元の帳票定義とこれらから自動で作成する帳票定義間でクラスターのマッピング設定を行います。

- 帳票間のマッピング設定ボタンをクリックします。
- 帳票間のマッピング設定画面が表示されます。

The screenshot displays the '帳票間のマッピング設定' (Mapping Setting between Reports) screen. The interface is divided into several sections:

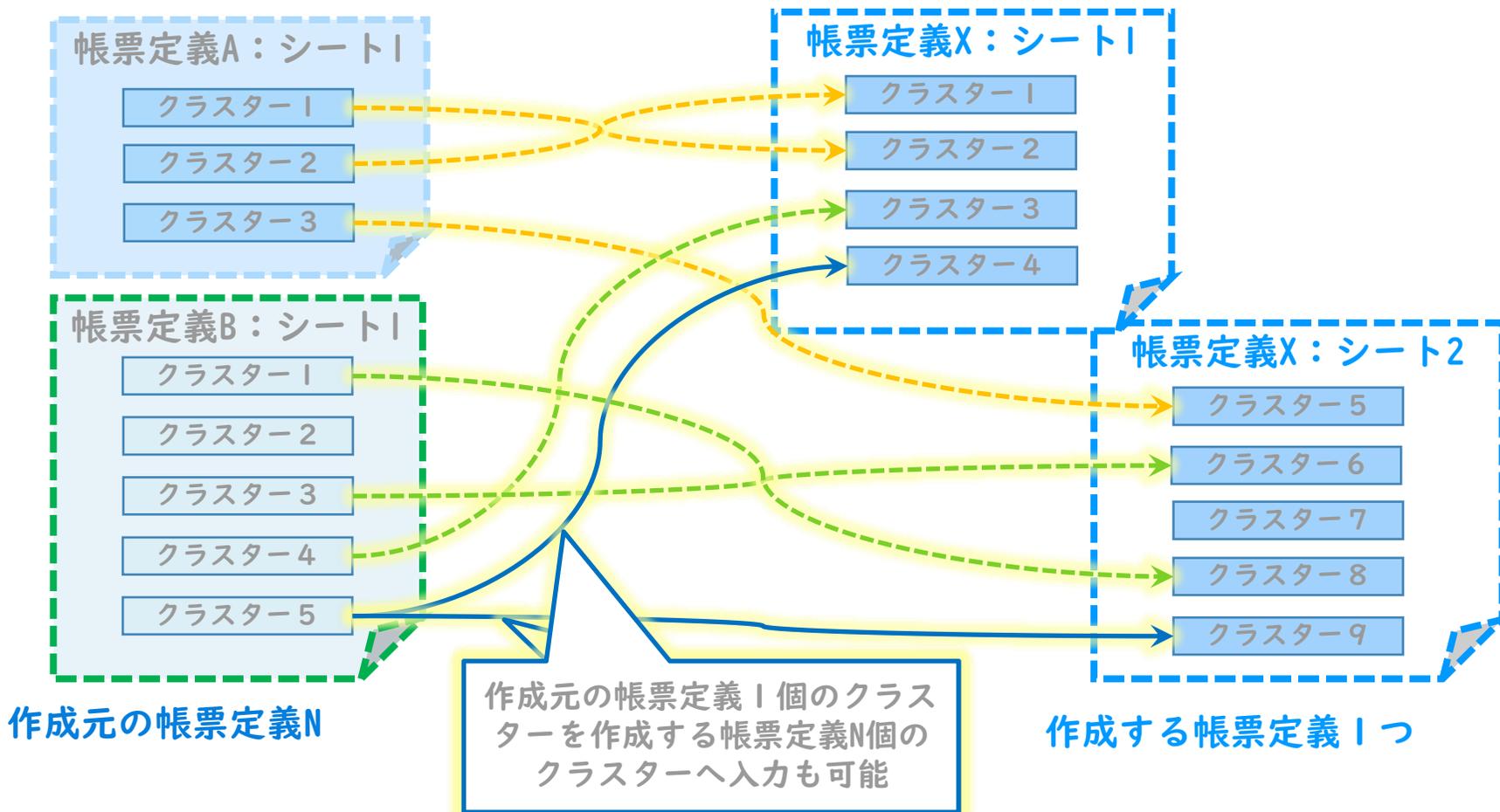
- Navigation:** Top tabs include 帳票定義, 入力帳票, データー出力, 自動帳票作成, ラベル管理, 図書管理, スケジュール, カスタムマスター, カスタムメニュー, バインダー, システム管理.
- Source Report (作成元の帳票定義):** 不具合報告&品質対策シート. A dropdown menu shows 'N:1' and a button '帳票間のマッピング設定' is highlighted with a dashed green box.
- Target Report (作成する帳票定義):** 先A.
- Cluster List (クラスター):** A list of clusters on the left, with '1:作成日 (Date)' selected. The right side shows a table for mapping information.
- Mapping Information Table:**

クラスター	マッピング情報	アプリで編集
0:クラスター0 (KeyboardText)		
1:クラスター0 (KeyboardText)		
2:クラスター0 (KeyboardText)		
3:クラスター0 (KeyboardText)		
4:クラスター0 (KeyboardText)		
5:クラスター0 (KeyboardText)		
6:クラスター1 (Handwriting)		
7:クラスター1 (Handwriting)		
8:クラスター1 (Handwriting)		
9:クラスター1 (Handwriting)		
10:クラスター1 (Handwriting)		
11:クラスター2 (FixedText)		
- Source Report Preview (作成元の帳票定義):** 不具合報告&品質対策シート. A preview of the report content is shown, including a table with columns for '作成日', '製造工場', '製品群', '部品名', '顧客', '不具合内容', '発生日時', 'LOT#', '加工時間', '発見場所', '不具合品数', '18'.
- Target Report Preview (作成する帳票定義):** 先A. A preview of the target report content is shown, including a table with columns for '1', '2', '3', '4', '5'.

At the bottom, the text '帳票間のマッピング設定画面' (Mapping Setting between Reports Screen) is overlaid.

帳票間でのクラスターのマッピングの概念図

- 作成元の帳票定義のクラスターと、その入力結果を使用する作成する帳票定義クラスターをマッピングします。
- 作成元の帳票定義のクラスターを複数の作成する帳票定義クラスターにマッピング可能です。



帳票間でのクラスターのマッピング設定画面

作成元の帳票定義とこれらから自動で作成する帳票定義間でクラスターのマッピング設定を行うための専用の画面が表示されます。

作成元の帳票定義を選択

- ID:1437 不具合報告&品質対策シート
- ID:1452 作成宜聞承認_hiroura (元)
- ID:1459 テスト定義1
- ID:1463 録音キーボード
- ID:1465 iot_tanitsu_yano_Timer_Multiple_Sheets_iot

帳票定義 | 入力帳

N:1

作成元の帳票定義: 不具合報告&品質対策シート

作成する帳票定義: 先A

作成する帳票定義のシート選択

クラスター	クラスター	マッピング情報	アプリで編集
<input type="radio"/> 0:帳票NO. (KeyboardText)	<input type="radio"/> 0:クラスター-0 (KeyboardText)		
<input checked="" type="radio"/> 1:作成日 (Date)	<input type="radio"/> 1:クラスター-0 (KeyboardText)		
<input type="radio"/> 2:部署名 (Select)	<input type="radio"/> 2:クラスター-0 (KeyboardText)		
<input type="radio"/> 3:作成者 (Select)	<input type="radio"/> 3:クラスター-0 (KeyboardText)		
<input type="radio"/> 4:製造工場 (Select)	<input type="radio"/> 4:クラスター-0 (KeyboardText)		
<input type="radio"/> 5:図面NO. (KeyboardText)	<input type="radio"/> 5:クラスター-0 (KeyboardText)		
<input type="radio"/> 6:製品名 (Select)	<input type="radio"/> 6:クラスター-1 (Handwriting)		
<input type="radio"/> 7:図面NO. (MultiSelect)	<input type="radio"/> 7:クラスター-1 (Handwriting)		
<input type="radio"/> 8:部品名 (Select)	<input type="radio"/> 8:クラスター-1 (Handwriting)		
<input type="radio"/> 9:客先 (KeyboardText)	<input type="radio"/> 9:クラスター-1 (Handwriting)		
<input type="radio"/> 10:発生日 (CalendarDate)	<input type="radio"/> 10:クラスター-1 (Handwriting)		
<input type="radio"/> 11:発生時刻 (Time)	<input type="radio"/> 11:クラスター-2 (FixedText)		

選択中の作成元の帳票定義のPDFを表示します。
※表示するには、ブラウザの横幅が1550px以上必要です。

作成元の帳票定義: 不具合報告&品質対策シート

不具合報告・品質対策シート			
帳票NO.	0		
部署名	作成者		
作成日	1	2	3
製造工場	4	図面NO.	5
製品群	6	適応機種	7
部品名	8	客先	9
不具合内容			
発生日時	10	11	発生場所
LOT#	12	加工時間	13
<状況>		不具合品数	14

作成する帳票定義のPDFを表示します。
※表示するには、ブラウザの横幅が1550px以上必要です。

作成する帳票定義: 先A

先A					
キーボードテキスト	1	2	3	4	5
主要品デジタル	9	7	8	9	10
主要品ノート形式	11	12	13	14	15
主要品タブレット	16	17	18	19	20
ソフトウェア	21	22	23	24	25
付属品	26	27	28	29	30
部品名	31	32	33	34	35
図面NO.	36	37	38	39	40
部署名	41	42	43	44	45
製造工場	46	47	48	49	50
製品群	51	52	53	54	55
部品名	56	57	58	59	60
客先	61	62	63	64	65
発生時刻	66	67	68	69	70
発生時刻	71	72	73	74	75

選択中の作成元の帳票定義のクラスターと作成する帳票定義のクラスター間でマッピングを1:Nで行います。

選択中の帳票定義のシートに設定されているクラスターの一覧をクラスターID:クラスター名称(クラスター種別)で表示します。

選択中の作成元の帳票定義のシート選択

作成する帳票定義のシートに設定されているクラスターの一覧をクラスターID:クラスター名称(クラスター種別)で表示します。

帳票間でのクラスターのマッピング操作

- ①作成元の帳票定義対象のクラスターのラジオボタンにチェックします。
- ②そのクラスターの入力結果をコピーする作成する帳票定義のクラスターのラジオボタンにチェックします。チェックした作成する帳票定義のクラスターにマッピング情報：作成元の帳票定義対象のクラスターの情報が表示されます。
- ③選択した作成元の帳票定義対象のクラスターの文字色が橙色に変わります。

作成元の帳票定義: 不具合報告&品質対策シート

作成する帳票定義: 先A

クラスター	マッピング情報	アプリで編集
<input type="radio"/> 0:クラスター-0 (KeyboardText)		
<input type="radio"/> 1:クラスター-0 (KeyboardText)		
<input type="radio"/> 2:クラスター-0 (KeyboardText)		
<input checked="" type="radio"/> 3:クラスター-0 (KeyboardText)	5:図面NO. (KeyboardText) 不具合報告&品質対策シート (シート1)	<input type="radio"/> する <input checked="" type="radio"/> しない
<input type="radio"/> 4:クラスター-0 (KeyboardText)		
<input type="radio"/> 5:クラスター-0 (KeyboardText)		

マッピングされた“作成元の帳票定義”のクラスター情報を表示します。
 <表示するマッピング情報>
 [クラスターindex]:[クラスター名称]
 ([クラスター種別物理名])
 [帳票定義名称](シート番号)

作成元の帳票からコピーされた値をアプリで編集する、しないを設定します。
 する：アプリ編集可能となります。
 しない：アプリで編集不可となります。

設定されたマッピング情報をクリア削除します。

戻る すべてクリアして保存 保存

© CIMTOPS Corporation.

帳票間でのクラスターマッピングの制限

- 作成元の帳票定義とこれらから自動で作成する帳票定義間でマッピングするクラスターは、同じクラスター種別である必要があります。
- 以下クラスター種別はマッピング設定の対象にできません。
 - マッピング設定に一部制限あり
 - キーボード
 - キーボード→キーボード=○
 - キーボード(自動採番)→キーボード=○
 - キーボード→キーボード(自動採番)=×
 - 計算式
 - 計算式→キーボード=○
 - 計算式→数値=○
 - 計算式→計算式=×
 - マッピング設定不可
 - 時刻計算
 - トグル集計
 - 帳票登録者
 - 帳票登録日時
 - 帳票更新者
 - 帳票更新日時
 - GPS
 - アクション
 - ピン打ち
 - ピンNo
 - ピンNo配置
 - ログインユーザー

帳票間でのクラスターマッピングの制限

作成元の帳票定義とこれらから自動で作成する帳票定義のクラスターの種別の表示は、物理名で表示されます。

N:1 戻る すべてクリアして保存 保存

作成元の帳票定義: 不具合報告&品質対策シート

作成する帳票定義: クラスター全控え

クラスター	マッピング情報	アプリで編集
0: 帳票NO. (KeyboardText)	0: 帳票NO. (KeyboardText) 不具合報告&品質対策シート (シート1)	<input type="radio"/> する <input checked="" type="radio"/> しない クリア
1: 作成日 (Date)		
2: 部署名 (Select)		
3: 作成者 (Select)		

クラスター種別は、物理名で表示されます

クラスター種別は、物理名で表示されます

クラスター種別	物理名
キーボードテキスト	KeyboardText
手書きデジタル	Handwriting
手書きノート形式	FixedText
手書きフリーメモ	FreeText
フリードロー	FreeDraw
数値選択	Numeric
数値	InputNumeric
時間数	NumberHours
計算式	Calculate
年月日	Date
カレンダー・年月日	CalendarDate
時刻	Time
時刻計算	TImeCalculate
チェック	Check
トグル選択	MultipleChoiceNumber
トグル集計	MCNCalculate
単一選択	Select
複数選択	MultiSelect
画像	Image
作成	Create
査閲	Inspect
承認	Approve
帳票登録者	Registration
帳票登録年月日	RegistrationDate
帳票更新者	LatestUpdate
帳票更新年月日	LatestUpdateDate
バーコード	Barcode
コードリーダー	CodeReader
GPS位置情報	Gps
アクション	Action
マスター選択	SelectMaster
ログインユーザー	LoginUser
ピン打ち	DrawingImage
ピン打ちNo.配置	DrawingPinNo
ピンNo.	PinItemTableNo
録音	AudioRecording

バインダーマスターの編集・コピー・削除

■ メニューからバインダーをクリックすると登録済のバインダーマスターの一覧が表示されます。この一覧画面のバインダーマスター操作列の編集コピー削除ボタンからそれぞれ行います。

■ 編集

■ 既存のバインダーマスターを編集します。編集 ボタンのクリックでバインダーマスター編集画面へ遷移します。

■ コピー

■ 既存のバインダーマスターをコピーして新たにバインダーマスターを生成します。

■ 削除

■ 既存のバインダーマスターを削除します。

帳票定義		入力帳票		データ出力		自動帳票作成		ラベル管理		図書管理		スケジュール		カスタムマスター		カスタムメニュー		バインダー		システム管理			
バインダーマスター一覧																							
																		表示件数 20		1 / 2 (29)		最後	
ID	バインダーの作成	バインダーマスター操作			バインダーマスター名	タイプ	登録日時	登録者	更新日時	更新者													
37	作成	編集	コピー	削除	1 デモ用	N:1	2021/01/26 14:38	yoshida	2021/01/26 14:38	yoshida													
30	作成	編集	コピー	削除	いろいろいじる	N:1	2021/01/25 13:43	karakama	2021/01/26 10:48	karakama													
36	作成	編集	コピー	削除	利田テスト5	N:1	2021/01/26 10:04	akita	2021/01/26 10:05	akita													
35	作成	編集	コピー	削除	作成査閲承認hiroura	N:1	2021/01/25 17:15	廣浦	2021/01/25 17:15	廣浦													
34	作成	編集	コピー	削除	作成査閲承認_公開版	N:1	2021/01/25 17:00	karakama	2021/01/25 17:00	karakama													
33	作成	編集	コピー	削除	作成査閲承認コピー	N:1	2021/01/25 16:49	廣浦	2021/01/25 16:49	廣浦													
32	作成	編集	コピー	削除	作成査閲承認	N:1	2021/01/25 16:36	karakama	2021/01/25 16:48	karakama													

バインダーマスターの保存

■ バインダーマスター名称の設定、作成する帳票の編集ステータス、作成元の帳票定義の選択、作成する帳票定義の選択、帳票間でのクラスターのマッピング設定が終了したら保存ボタンをクリックして、そのバインダーマスターの設定情報を保存します。

■ 保存

■ バインダーマスター名称の設定、作成する帳票の編集ステータス、作成元の帳票定義の選択、作成する帳票定義の選択、帳票間でのクラスターのマッピング設定を保存します。

■ すべてクリアして保存

■ マッピング設定の情報をクリアしてバインダーマスター名称の設定、作成する帳票の編集ステータス、作成元の帳票定義の選択、作成する帳票定義の選択のみ保存します。

The screenshot shows the 'N:1' configuration screen. At the top right, three buttons are visible: '戻る' (Back), 'すべてクリアして保存' (Save after clearing all), and '保存' (Save). The 'すべてクリアして保存' button is highlighted with a dashed green box. Below the buttons, there are two main sections for configuration. The left section is for '作成元の帳票定義' (Original Report Definition) with a dropdown menu set to '品質対策シート'. The right section is for '作成する帳票定義' (Report to be created) with a dropdown menu set to '不具合報告&品質対策シート_まとめ'. Below these are two tables. The first table, titled 'クラスター', has a single row with a radio button and the text '0:日付 (Date)'. The second table, titled 'マッピング情報', has columns for 'クラスター', 'マッピング情報', and 'アプリで編集'. It contains a row with a radio button, '0:作成日 (Date)', '不具合報告 (シート1)', radio buttons for 'する' and 'しない', and a 'クリア' button. A '作成日' field is visible at the bottom right.

バインダーマスター使用されている帳票定義変更

- バインダーマスターで使用されている帳票定義においてマッピングされているクラスターの種別の変更とクラスターの削除が行われると、バインダーマスターの一覧表示画面においてバインダーマスター名称の下に以下のメッセージを赤文字で表示されます。
 - **マッピング設定が不正です。**
- **マッピング設定が不正です。**と表示された場合には、”編集”ボタンから再度、帳票間でのクラスターのマッピング設定を修正してください。
 - **マッピング設定が不正となった**バインダーマスターは、編集、削除のみ可能になり、コピーは不可になります。

ID	バインダーの作成	バインダーマスター操作	バインダーマスター名	タイプ	登録日時	登録者	更新日時	更新者
1	作成	編集 削除	不具合報告・品質対策シートバインダーマスター マッピング設定が不正です。	N:1	2021/01/12 19:20	taro	2021/01/27 18:03	taro

手順3

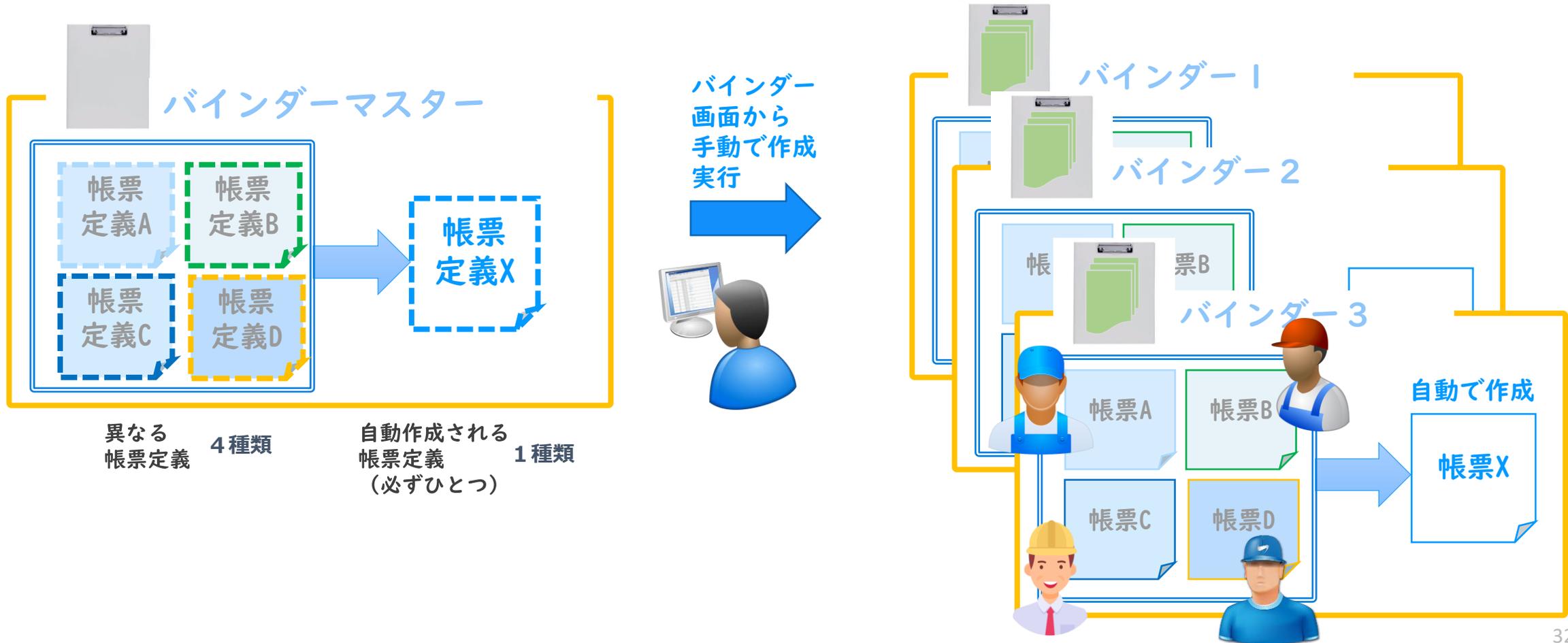
ConMas Managerで

N:1 バインダーマスターから

N:1 バインダーを作成する

N:1 バインダーの作成

- バインダー機能を使用するにはN:1 バインダーマスターから、あらかじめ、実際の入力で使用するN:1 バインダーをあらかじめ管理者（バインダー権限：作成を持つユーザー）が作成しておく必要があります。



バインダーの作成

- バインダーマスター一覧から、使用するバインダーマスターの作成ボタンをクリックします。
- バインダー作成画面が表示されます。
- バインダー作成の方法は、自動帳票作成でバインドと手動でバインドの2つの方法があります。

帳票定義 入力帳票 データ出力 自動帳票作成 ラベル管理 図書管理 スケジュール カスタムマスター カスタムメニュー バインダー システム管理

バインダーマスター一覧

表示件数 20 1 / 2 (30) 最後

ID	バインダーの作成	バインダーマスター操作	バインダーマスター名	タイプ	登録日時	登録者	更新日時	更新者
38	作成	編集 コピー 削除	バインダー-AAA	N:1	2021/01/27 19:27	水野	2021/01/27 19:27	水野
31	作成	編集 コピー 削除	バインダー-ABC-XY	N:1	2021/01/25 14:48	vechida	2021/01/27 18:00	vechida
37	作成	編集 コピー 削除	JMデモ用					
30	作成	編集 コピー 削除	いろいろい					
36	作成	編集 コピー 削除	秋田テスト					
35	作成	編集 コピー 削除	作成査閲済					

帳票定義 入力帳票 データ出力 自動帳票作成 ラベル管理 図書管理 スケジュール カスタムマスター カスタムメニュー バインダー システム管理

自動帳票作成でバインド 手動でバインド

自動帳票作成でバインドと手動でバインドの選択

作成元の帳票定義	作成する帳票定義
<ul style="list-style-type: none"> ID:1437 不具合報告&品質対策シート ID:1452 作成査閲承認_hiroura (元) ID:1459 テスト定義1 ID:1463 録音キーボード ID:1467 iot_tanitsu_yano_Timer_Multiple_Sheets_iot 	<ul style="list-style-type: none"> ID:1458 先A

作成バインダー数 1 初期値セット

バインダー名

ラベルを作成する

親ラベル クリア

アイコン

戻る 作成

バインダー作成画面

自動帳票作成でのバインダー作成

- 自動帳票作成処理で、指定したバインダーの数のバインダーとその配下の帳票を作成します。
- 上部メニューから自動帳票作成でバインドを選択し、以下の設定を行います。各設定を行い画面下部の作成ボタンをクリックするとバインダーとその配下に帳票が作成されます。
 - 作成バインダー数：作成するバインダーの数を指定します。最大35までセットできます。
 - バインダーマスターの設定に基づき、作成元の帳票定義から編集ステータス：入力前の入力帳票、作成する帳票定義から1つの編集ステータス：入力前の入力帳票をそれぞれ作成します。
 - 例) 作成元の帳票定義 = 4つの定義の場合は、1バインダーで合計5つの帳票が作成されます。
 - バインダー名：作成するバインダーに名前を付けます。置換文字列の利用で帳票の入力内容等を使用してバインダー名を作成することも可能です。
 - ラベルを作成する：バインダー用のラベルをバインダー名で作成しその配下に作成された帳票を配置します。
 - 親ラベル：このバインダー名でのラベルの親ラベルを指定します。
 - ラベルアイコンをクリックすると親ラベルの選択画面が表示されます。

自動帳票作成でバインド

手動でバインド

作成元の帳票定義	作成する帳票定義
<ul style="list-style-type: none"> ID:1437 不具合報告&品質対策シート ID:1452 作成査閲承認_hiroura (元) ID:1459 テスト定義1 ID:1463 録音キーボード ID:1467 iot_tanitsu_yano_Timer_Multiple_Sheets_iot 	<ul style="list-style-type: none"> ID:1458 先A

作成バインダー数: 1

バインダー名称: []

バインダー名: []

ラベルを作成する:

親ラベル: アット

アイコン: []

作成

親ラベルの選択画面

親ラベル

1-223/1(223)

選択 Manager/20210126

選択 Manager/20210127

選択 更新なし

選択 更新有

選択 バインダー説明用

選択 出庫指示書

選択 出庫指示書/編集中

選択 a

選択 a/b

作成バインダー数

バインダー名称

親ラベル選択アイコン

バインダーの作成

自動帳票作成時に初期値をセットする

- 作成元の帳票定義から編集ステータス：入力前の入力帳票を作成する時に、自動帳票作成CSV、XMLを用意することで、あらかじめ初期値をセットして帳票を作成することができます。
 - 通常の自動帳票作成時と同じ処理になります。
- 初期値セットボタンをクリックすると、ファイル選択画面が表示されます。
 - 画面操作、セットするCSV、XMLは自動帳票作成機能と同様です。
 - CSV、XMLには「作成するバインダー数」の各“作成元の帳票定義”の帳票数分を用意する必要があります。詳しくは「バインダー作成画面 初期値セット例」を参照ください。

ファイル選択

ファイル形式	CSV
Encoding	shift_jis
作成ユーザーIDを帳票登録者とする	<input type="checkbox"/>
ラベルの位置設定	<input type="checkbox"/> ※チェックすると、アップロードファイル中の"ラベル"が階層設定されていた場合に、一番下のみラベルが付きます。
クラスターデフォルト値	<input type="button" value="v"/> 0: セットしない 1: セットする (作成用) 2: セットする (作成用)
サムネイル更新	<input checked="" type="checkbox"/>
計算式を動作させる	<input checked="" type="checkbox"/>
	<input type="button" value="ファイルを選択"/> 選択されていません

登録 ファイルクリア

※本機能を用いて作成される帳票のサムネイル画像を高画質化することができます。詳細は「サーバーでの帳票作成時のサムネイルの画質向上設定」マニュアルをご覧ください。

※この設定を使用するには、帳票定義の基本情報において「自動帳票作成対象区分」が”対象”となっている必要があります。
 クラスターに値をセットするには、Designerのクラスター設定で「外部システム連携」の「連携可否」を”連携する”にする必要があります。35

自動帳票作成時に計算式を動作させる

- ファイル選択画面で「計算式を動作させる」チェックボックスにチェックします。
- 自動帳票作成時に、計算式クラスターの計算式が実行されます。
- 四則演算、SUM関数のみ動作します。これ以外の計算式は計算されません。

ファイル選択

ファイル形式	CSV
Encoding	shift_jis
作成ユーザーIDを帳票登録者とする	<input type="checkbox"/>
ラベルの位置設定	<input type="checkbox"/> ※チェックすると、アップロードファイル中の"ラベル"が階層設定されていた場合に、一番下にもみラベルが付きます。
クラスターデフォルト値	<input type="checkbox"/> 0: セットしない 1: セットする (作成用データに値指定が存在しないクラスターのみ) 2: セットする (作成用データに値が存在し、その入力値が空で指定されているクラスターを含む)
サムネイル更新	<input checked="" type="checkbox"/>
計算式を動作させる	<input checked="" type="checkbox"/>
	ファイルを選択 選択されていません

登録 ファイルクリア

「計算式を動作させる」にチェックを入れると計算式クラスターの計算式が実行されます。(初期値ファイルを指定しない場合は実行されません。)
実行対象は、**四則演算**、**SUM関数**のみになります。
これら以外の計算式の場合、計算は行われません。
※Manager8.0.21070以上

自動帳票作成時に計算式を動作させる

■ ファイル選択画面を開いた際に「計算式を動作させる」チェックボックスをデフォルトでONにする/OFFにするよう設定することができます。

■ 設定方法

システム管理→共通マスター管理メニューから、下記設定の編集画面を開きます。

共通キー：CONMAS_FUNCTION

共通項目名称：CALCULATE_DEFAULT

共通項目値：0 チェックボックスOFF

1 チェックボックスON（規定値）

共通マスター参照

共通キー	CONMAS_FUNCTION
共通項目インデックス	9
共通項目名称	CALCULATE_DEFAULT
共通項目値	1
ロケール	

共通項目値
0 チェックボックスOFF
1 チェックボックスON（デフォルト）

初期値CSVの設定例

- バインダーマスターの設定
 - 作成元の帳票定義 = 2 定義 (定義AのID : 100、定義BのID : 101)
- バインダーの作成条件
 - バインダー数 = 5
 - 作成元の帳票定義から自動帳票作成される帳票数 = $5 \times 2 \text{ 定義} = 10 \text{ 帳票}$
- 上記の場合の簡易CSV = 10 帳票分のCSVを用意

CSVサンプル

```

H,defTopId,S1C0,S1C1,.....,.....
R,100,aaaa1,bbbb1,.....,.....
R,100,aaaa2,bbbb2,.....,.....
R,100,aaaa3,bbbb3,.....,.....
R,100,aaaa4,bbbb4,.....,.....
R,100,aaaa5,bbbb5,.....,.....
H,defTopId,S1C0,S1C1,.....,.....
R,101,xxxxx1,yyyyy1,.....,.....
R,101,xxxxx2,yyyyy2,.....,.....
R,101,xxxxx3,yyyyy3,.....,.....
R,101,xxxxx4,yyyyy4,.....,.....
R,101,xxxxx5,yyyyy5,.....,.....

```

定義AのID : 100の5 帳票の作成用のデータ

定義BのID : 101の5 帳票の作成用のデータ

手動でのバインダー作成

■ 既に作成されている帳票を使用して手動でバインダーを作成します。

■ 上部メニューから手動でバインドを選択します。

■ 作成元の帳票定義の各定義から作成されている既存の帳票をそれぞれ一つずつ選択します。各設定を行った後、画面下部の作成ボタンをクリックするとバインダーとその配下にの帳票が作成されます。

■ バインダーマスターの設定に基づき、既存から選択した作成元の帳票をもとに 作成する帳票定義から1つの編集ステータス：入力前の入力帳票を作成します。

■ 作成できるバインダー数は1つとなりますので設定はありません。

■ バインダー名：作成するバインダーに名前を付けます。置換文字列の利用で帳票の入力内容等を使用してバインダー名を作成することも可能です。

■ ラベルを作成する：バインダー用のラベルをバインダー名で作成し、その配下に選択及び作成された帳票を配置します。

■ 親ラベル：このバインダー名でのラベルの親ラベルを指定します。

■ ラベルアイコンをクリックすると親ラベルの選択画面が表示されます。

親ラベルの選択画面

既存帳票の
選択ボタン

親ラベル選択
ボタン

バインダーの
作成

親ラベルの選択画面

既存帳票の選択

- 画面上部の作成元の帳票定義の一覧表示の各帳票定義毎に既存の帳票を選択します。
 - 設定されている作成元の帳票定義の全てにおいて既存帳票の選択が必要となります。
 - 選択ボタンをクリックすると、その帳票定義から作成された既存の帳票を一覧表示します。
 - 一覧からひとつ既存帳票を選択チェックし、画面上部の選択ボタンをクリックします。
 - 正しく設定されると作成元の帳票定義の下に選択した既存帳票が帳票ID：帳票名称で表示されます。

自動帳票作成でバインド 手動でバインド

作成元の帳票定義

- ID:1437 不具合報告&品質対策シート
- ID:1452 作成査閲承認_hiroura (元)
- ID:1459 テスト定義1
- ID:1463 録音キーボード
- ID:1467 iot_tanitsu_yano_Timer_Multiple_Sheets_iot

作成する帳票定義

- ID:1458 先A

バインダー名

ラベルを作成する

親ラベル

アイコン

戻る 作成

その帳票定義から作成された既存帳票の一覧表示画面

ラベル検索: 検索

1-44 / 1(447)

編集ステータス: 公開 シート セット ブック

表示件数 20

ID	帳票名称	元ID	REV	編集ステータス	登録日時	登録者	更新日時	更新者
5008	不具合報告&品質対策シート_202101101001 初回保存時 備考_1:初回保存時 備考/システムキーコピー_2:00004-1_3:00004-1 akt	5008	1	入力前	2021/01/26 10:16	akita	2021/01/26 11:52	akita
4949	報告&品質対策シート_202101100202 初回保存時 削除テスト_自動採番_承認	4949	1	承認待ち	2021/01/25 17:18	akita	2021/01/25 17:40	akita_worker

既存帳票からひとつ選択チェック

作成元の帳票定義

- ID:1437 不具合報告&品質対策シート
- ID:5008 不具合報告&品質対策シート_202101101001

選択した既存帳票の
帳票ID 帳票名称の表示

既存帳票の一覧表示画面に表示される既存の入力帳票は作成元の帳票定義から作成された入力帳票 かつ 別のバインダーに含まれていない帳票となります。※すでに別のバインダーに含まれている既存帳票は表示されません。

バインダー名の置換文字列による自動設定 (1/2)

■ バインダーの名称は、予め任意文字列を設定できる他、置換文字列を使用することでバインダー対象の帳票が持つ値をバインダー名称に指定できます。

利用可能なバインダー種類	置換文字列	置換される値
[N:1][週報・月報]	{[帳票定義ID]_def_top_id}	[帳票定義ID]の定義ID
[N:1][週報・月報]	{[帳票定義ID]_def_top_name}	[帳票定義ID]の定義名称
[N:1][週報・月報]	{[帳票定義ID]_def_top_remarks1}	[帳票定義ID]の備考 1
	~	~
[N:1][週報・月報]	{[帳票定義ID]_def_top_remarks10}	[帳票定義ID]の備考 1 0
[N:1][週報・月報]	{[帳票定義ID]_rep_top_id}	[帳票定義ID]の定義から作成された入力帳票ID
[N:1][週報・月報]	{[帳票定義ID]_rep_top_name}	[帳票定義ID]の定義から作成された入力帳票名称
[N:1][週報・月報]	{[帳票定義ID]_rep_top_remarks1}	[帳票定義ID]の定義から作成された入力帳票の備考 1
	~	~
[N:1][週報・月報]	{[帳票定義ID]_rep_top_remarks10}	[帳票定義ID]の定義から作成された入力帳票の備考 1 0
[週報・月報]	{report_year}	対象年 (バインダー作成画面で指定した作成月の年)
[週報・月報]	{report_month}	対象月 (バインダー作成画面で指定した作成月の月)
[週報・月報]	{report_from_date}	開始日 (バインダー作成画面で指定した週報・月報の開始日、yyyy/MM/dd形式)
[週報・月報]	{report_to_date}	終了日 (バインダー作成画面で指定した週報・月報の終了日、yyyy/MM/dd形式)
[週報・月報]	{report_week_num}	週番号 (バインダー作成画面で指定した作成週の週番号、週報のみ指定可)

バインダー名の置換文字列による自動設定 (2/2)

■ 使用例

【{123456_def_top_name}】 {report_year}年{report_month}月第{report_week_num}週 (自{report_from_date}～至{report_to_date})
↓
【週次報告書】 2021年3月第1週 (自2021/03/01～至2021/03/06)

■ 注意事項

日報→週報・月報では作成元帳票が複数となるため、
{[帳票定義ID]_rep_top_～}に作成元の帳票定義IDを指定することはできません。

バインダー名の置換文字列の設定例

使用する置換文字列

- {[帳票定義ID]_rep_top_name} : [帳票定義ID]の定義から作成された入力帳票名称 を使用した場合

バインダー名の設定例

- バインダー名 : {1429_rep_top_name} と設定

- ※作成する帳票定義 : ID:1429不具合報告まとめから作られた **入力帳票の名称** を設定する。
=>バインダー名

設定されるバインダー名

作成元の帳票定義

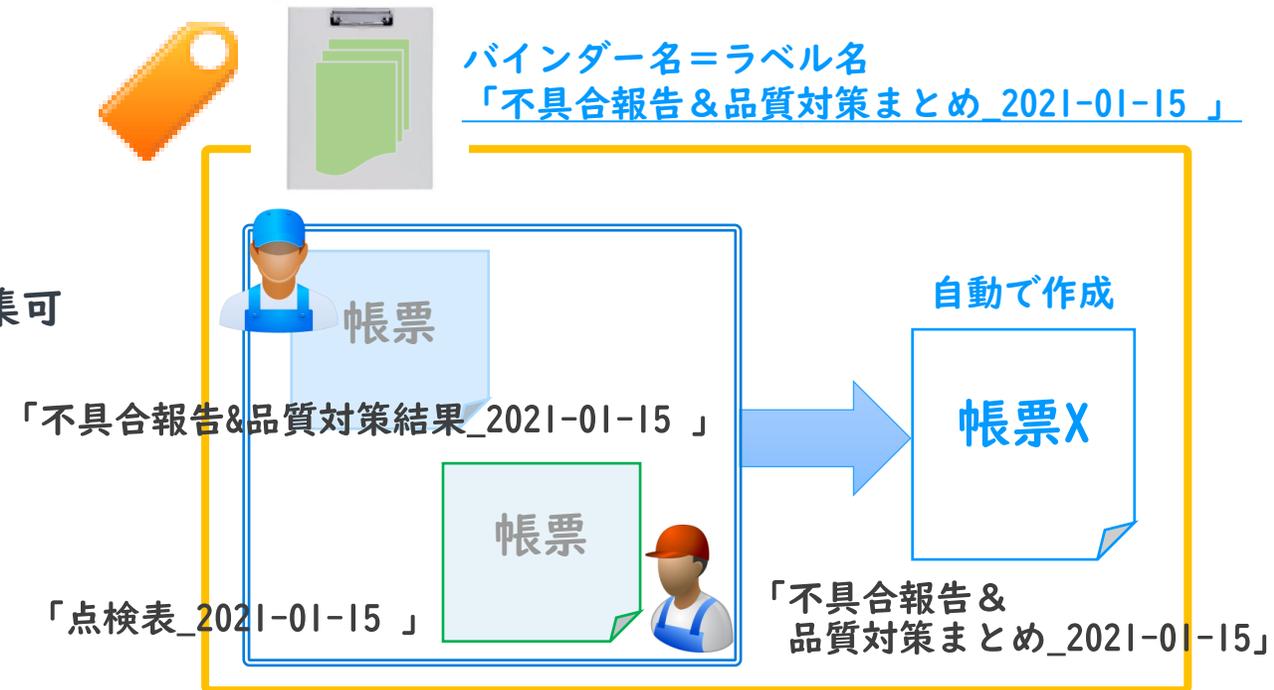
- 定義ID=1437:不具合報告&品質対策シート
 - この定義から作成される入力帳票の帳票名称
「不具合報告&品質対策結果_2021-01-15」
- 定義ID=1443 :点検表 (録音クラスター) 再編集可
 - この定義から作成される入力帳票の帳票名称
「点検表_2021-01-15」

作成する帳票定義

- 定義ID=1429:不具合報告 & 品質対策まとめ
 - この定義から作成される入力帳票の帳票名称
「不具合報告 & 品質対策まとめ_2021-01-15」

設定されるバインダー名

- **不具合報告 & 品質対策まとめ_2021-01-15**
- バインダーラベルの名称も、これを設定し**不具合報告 & 品質対策まとめ_2021-01-15**



バインダー名の置換文字列の画面設定例

作成元の帳票定義		作成する帳票定義	
<ul style="list-style-type: none"> ID:1437 不具合報告&品質対策シート ID:1443 点検表（録音クラスター）再編集可 		<ul style="list-style-type: none"> ID:1429 不具合報告&品質対策まとめ 	

作成バインダー数	<input type="text" value="1"/>	初期値セット
バインダー名	<input type="text" value="{1429_rep_top_name}"/>	
ラベルを作成する	<input checked="" type="checkbox"/>	
親ラベル	<input type="button" value="クリア"/>	
アイコン		

{1429_rep_top_name} の設定
 =ID:1429不具合報告&品質対策まとめ
 から作られた **入力帳票の名称**を
 バインダー名に設定します。

ラベルを作成する場合、
 {1429_rep_top_name} の設定
 =ID:1429不具合報告&品質対策まとめ
 から作られた **入力帳票の名称**を
 ラベル名に設定します。

ラベルの制限事項

■ ラベルの自動作成

- 「ラベルを作成する」にチェックを入れることにより、作成されるバインダー毎にラベルを自動生成します。
- ラベル名は、バインダー名が使用されます。
- バインダー名が置換文字列を使用して動的に変わる設定の場合、ラベル名も同様に設定されます。
- ここで生成したラベルは、1つのバインダーに対して一つのラベルとなり、バインダー専用のラベルとなります。

■ ラベルの制限事項

- バインダーラベルはManagerのラベル管理機能で名称を変更することは出来ません。
- このバインダーラベルに、関係のない他帳票の紐づけをすることは出来ません。
- iOS/iPadOSアプリ、Windowsアプリでは、ラベル以外にバインダーを表すものはありません。

※よって、アプリでのバインダーの認識のために、バインダーラベルの使用を推奨します。

手順3

ConMas Managerで 作成済の
N:1 バインダーを
参照・削除する。

削除ボタン表示条件

■ 削除ボタンの表示条件は以下のとおりです。

- バインダー配下の帳票がすべて入力前であること
- バインダー配下の帳票がすべて排他ロックされていないこと
- バインダー配下の帳票すべてに帳票削除権限があること
- バインダーに削除権限があること

日報→週報・月報バインダーの使用方法

日報→週報・月報バインダーを作成する手順

■ 手順 1

- ConMas Managerで バインダー機能を使用するために権限設定を行う。
※N:1の場合と同様となります。



■ 手順 2

- ConMas Designerで日報→週報・月報用の定義を作成する。



■ 手順 3

- ConMas Managerで 日報→週報・月報のバインダーマスターを作成する。



■ 手順 4

- ConMas Managerで 日報→週報・月報のバインダーマスターから
日報→週報・月報の バインダーを作成する。

手順 1

ConMas Managerで
バインダー機能を使用するために
権限設定を行う

手順 2

ConMas Designerで 日報→週報・月報用の定義を作成する

日報→週報・月報用定義の作成

- 日報→週報・月報のバインダーに使用する定義は、ConMas Designerで定義作成時に日報→週報・月報タブで日報・週報・月報のいずれかを設定します。
- 日報の定義には年月日クラスターまたはカレンダー年月日クラスターが必須です。
- 週報または月報の定義には日付列を含んだ表の設定が必須です。
※表はExcel COM Add-inで設定します。
「ConMas EXCEL COM Add-in Ver7.0 日本語AIバージョン」を参照ください。
https://cimtops-support.com/i-Reporter/ir_manuals/jp/add_in/ConMasEXCELAddin7.0_jp.pdf
- 週報の表は7行以上、月報の表は31行以上、用意してください。

ConMas Designer 『日報→週報・月報』タブ

TOP > sample

Designer 帳票定義情報設定 自動採番ルール 日報→週報・月報

なし

日報
日報の日付クラスター

週報
週報の表番号

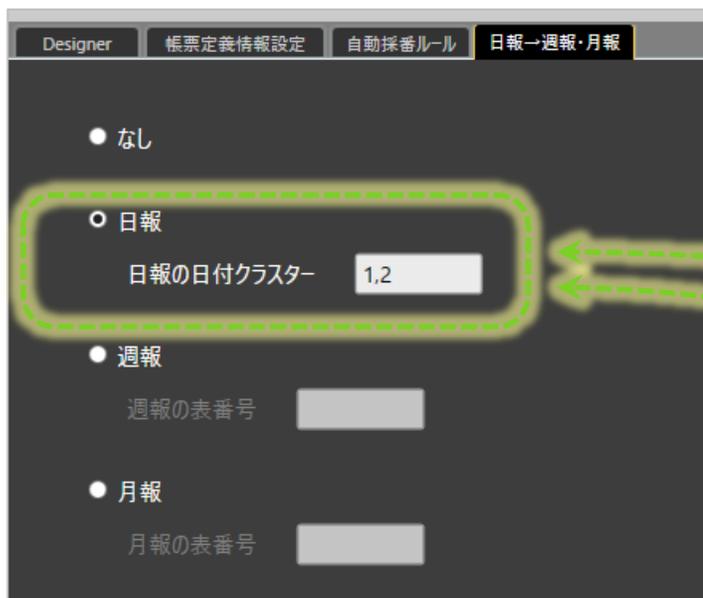
月報
月報の表番号

Designerで日報用定義を作成する

■ 日報→週報・月報タブをクリックします。

■ 日報をクリックします。

■ 日報日付クラスターに、日報の日付として使用する年月日クラスターまたはカレンダー年月日クラスターのシート番号とクラスターIDをカンマ区切りで入力します。



※EXCELファイルを取込みした結果、

「日報の日付クラスター」に設定していたクラスターが
不正な状態であった場合（存在しない、クラスター種別が変わった、等）
「#REF」という表示に変わります。その場合は正しく設定し直して下さい。

Designerで週報用定義を作成する

- 日報→週報・月報タブをクリックします。
 - 週報をクリックします。
 - 週報の表番号に、週報として使用する表の表番号を入力します。

Designer 帳票定義情報設定 自動採番ルール 日報→週報・月報

● なし

● 日報
日報の日付クラスター

○ 週報
週報の表番号 1

● 月報
月報の表番号

表一覧

1. 週報
2. 作業時間

表番号 1

表名称 週報

連携テーブルに出力する

列名称	日付	作業時間
列キー	F_001	F_002
列型	日付	数値
クラスター種別	カレンダー-年月日	数値

行名称	1	2
行名称 1	0. 日付1	1. 作業時間1
行名称 2	2. 日付2	3. 作業時間2
行名称 3	4. 日付3	5. 作業時間3
行名称 4	6. 日付4	7. 作業時間4
行名称 5	8. 日付5	9. 作業時間5
行名称 6	10. 日付6	11. 作業時間6
行名称 7	12. 日付7	13. 作業時間7

※EXCELファイルを取込みした結果、
「週報の表番号」に設定していた表番号が存在しない場合
「#REF」という表示に変わります。その場合は正しく設定し直して下さい。

Designerで月報用定義を作成する

- 日報→週報・月報タブをクリックします。
 - 月報をクリックします。
 - 月報の表番号に、月報として使用する表の表番号を入力します。

Designer 帳票定義情報設定 自動採番ルール 日報→週報・月報

なし
 日報
 日報の日付クラスター
 週報
 週報の表番号
 月報
 月報の表番号

表一覧

1. 月報
2. 作業時間

表番号
表名称 月報

連携テーブルに出力する

列名称	日付	作業時間
列キー	F_001	F_002
列型	日付	数値
クラスター種別	カレンダー-年月日	数値

	1	2
行名称 1	0. 日付1	1. 作業時間1
行名称 2	2. 日付2	3. 作業時間2
行名称 3	4. 日付3	5. 作業時間3
行名称 4	6. 日付4	7. 作業時間4
行名称 5	8. 日付5	9. 作業時間5
行名称 6	10. 日付6	11. 作業時間6
行名称 7	12. 日付7	13. 作業時間7
行名称 8	14. 日付8	15. 作業時間8
行名称 9	16. 日付9	17. 作業時間9
行名称 10	18. 日付10	19. 作業時間10
行名称 11	20. 日付11	21. 作業時間11

※EXCELファイルを取込みした結果、
「月報の表番号」に設定していた表番号が存在しない場合
「#REF」という表示に変わります。その場合は正しく設定し直して下さい。

手順3

ConMas Managerで
「日報→週報・月報」の
バインダーマスターを作成する

日報→週報のバインダーマスターの作成

- バインダーマスター一覧画面の左上にある **+** ボタンをクリックします。
- バインダーマスター作成画面が表示されます。
 - 『日報→週報』を選択します。
 - バインダーマスター名、作成する帳票の編集ステータスを設定します。
N:1の場合と同内容となりますので、詳細はN:1の手順を参照ください。



帳票定義	入力帳票	データ出力	自動帳票作成	ラベル管理	図書管理	スケジュール	カスタムマスター	カスタムメニュー	バインダー	システム管理
N:1	日報→週報	日報→月報	帳票間のマッピング設定							
バインダーマスター名	<input type="text"/>									
作成する帳票の編集ステータス	<input checked="" type="radio"/> 編集にする <input type="radio"/> 作成元の帳票を全て完了したら完了にする									
作成元の帳票定義を選択					→	作成する帳票定義を選択				
<input type="button" value="戻る"/>										

日報→週報の帳票定義の選択

- 作成元の帳票定義を選択をクリックして日報用の定義を1つ選択します。
- 作成する帳票定義を選択をクリックして週報用の定義を1つ選択します。

帳票定義 入力帳票 データ出力 自動帳票作成 ラベル管理 図書管理 スケジュール カスタムマスター カスタムメニュー バインダー システム管理

N:1 日報→週報 日報→月報 帳票間のマッピング設定

バインダーマスター名

作成する帳票の編集ステータス 編集中にする 作成元の帳票を全て完了したら完了にする

作成元の帳票定義を選択 → 作成する帳票定義を選択

戻る

ラベル検索: 検索

1-117/1(117)

すべて
ラベルなし
開発
ラベル1
ラベル2
ゴミ箱

ID	定義名称	元ID	REV	自動
1213	日報サンプル3 #23935_バインダー1N:1	1213	1	対象
1210	日報サンプル2 #23935_バインダー1N:1	1210	1	対象
1200	日報サンプル1 #23935_バインダー1N:1	1200	1	対象

ラベル検索: 検索

1-117/1(117)

すべて
ラベルなし
開発
ラベル1
ラベル2
ゴミ箱

選択 外す

ID	定義名称	元ID	REV	自動	登録日時	登録者	更新日時	更新者
1212	週報サンプル2 #23935_バインダー1N:1	1212	1	対象	2021/03/23 10:14	ユーザー-01	2021/03/23 10:14	ユーザー-01
1201	週報サンプル1 #23935_バインダー1N:1	1201	1	対象	2021/03/09 12:34	ユーザー-01	2021/03/09 12:34	ユーザー-01

表示件数 20 / 1 / 1

帳票定義作成時に「日報」に設定した定義が表示されます。

帳票定義作成時に「週報」に設定した定義が表示されます。

日報→週報のマッピング設定

- 日報の定義のクラスターと週報の定義の表の列をマッピングします。
- 定義作成時に日報日付クラスターとして設定したクラスターは必ずマッピングする必要があります。
- **その他マッピング設定の詳細についてはN:1の手順と同じです。そちらを参照ください。**

帳票定義 入力帳票 データー出力 自動帳票作成 ラベル管理 図書管理 スケジュール カス

N:1 日報→週報 日報→月報 **帳票間のマッピング設定**

バイスターマスター名 週報1

帳票定義 入力帳票 データー出力 自動帳票作成 ラベル管理 図書管理 スケジュール カスタムマスター カスタムメニュー バインダー システム管理

日報→週報 戻る すべてクリアして保存 保存

作成元の帳票定義: 日報サンプル1 → 作成する帳票定義: 週報サンプル1

作成元の帳票定義: 日報サンプル1

作成する帳票定義: 週報サンプル1

1:週報

列	マッピング情報	アプリで編集
<input checked="" type="radio"/> 0:日付 (CalendarDate)	2:日付 (CalendarDate) 日報サンプル1 (シート1)	<input checked="" type="radio"/> しない クリア
<input type="radio"/> 1:作業時間 (InputNumeric)		

「日報」の帳票定義のクラスターが表示されます。

帳票定義作成時に「週報の表番号」に設定した表のクラスターが表示されます。

No. 日付 作業時間

1 日付 作業時間

日報→月報のバインダーマスターの作成

- バインダーマスター一覧画面の左上にある **+** ボタンをクリックします。
- バインダーマスター作成画面が表示されます。
 - 月報→週報を選択します。
 - バインダーマスター名、作成する帳票の編集ステータスを設定します。
設定の詳細はN:1の手順を参照ください。



帳票定義	入力帳票	データ出力	自動帳票作成	ラベル管理	図書管理	スケジュール	カスタムマスター	カスタムメニュー	バインダー	システム管理
------	------	-------	--------	-------	------	--------	----------	----------	-------	--------

N:1	日報→週報	日報→月報	帳票間のマッピング設定
-----	-------	--------------	-------------

バインダーマスター名	<input type="text"/>
作成する帳票の編集ステータス	<input checked="" type="radio"/> 編集中にする <input type="radio"/> 作成元の帳票を全て完了したら完了にする

<input type="text" value="作成元の帳票定義を選択"/>	→	<input type="text" value="作成する帳票定義を選択"/>
--	---	--

日報→月報の帳票定義の選択

- 作成元の帳票定義を選択をクリックして日報用の定義を1つ選択します。
- 作成する帳票定義を選択をクリックして月報用の定義を1つ選択します。

帳票定義 | 入力帳票 | データー出力 | 自動帳票作成 | ラベル管理 | 図書管理 | スケジュール | カスタムマスター | カスタムメニュー | バインダー | システム管理

N:1 | 日報→週報 | 日報→月報 | 帳票間のマッピング設定

バインダーマスター名

作成する帳票の編集ステータス 編集中にする 作成元の帳票を全て完了したら完了にする

作成元の帳票定義を選択 → 作成する帳票定義を選択

戻る

ラベル検索: 検索

1-117/1(117)

選択 外す

ID	定義名称	元ID	REV	自動	登録日時	登録者	更新日時	更新者
1213	日報サンプル3 #23935_バインダー1N:1	1213	1	対象	2021/03/29 16:48	ユーザー-01	2021/03/29 16:48	ユーザー-01
1210	日報サンプル2 #23935_バインダー1N:1	1210	1	対象				
1200	日報サンプル1 #23935_バインダー1N:1	1200	1	対象	2021/03/09 12:25	ユーザー-01	2021/03/09 12:25	ユーザー-01

表示件数 20 1 / 1

ラベル検索: 検索

1-117/1(117)

選択 外す

公開 シート セット ブック

ID	定義名称	元ID	REV	自動	登録日時	登録者	更新日時	更新者
1238	種別3	1238	1	対象	2021/03/29 16:48	ユーザー-01	2021/03/29 16:48	ユーザー-01
1202	月報サンプル1 #23935_バインダー1N:1	1202	1	対象	2021/03/15 10:24	ユーザー-01	2021/03/15 10:24	ユーザー-01

表示件数 20 1 / 1

帳票定義作成時に「日報」に設定した定義が表示されます。

帳票定義作成時に「月報」に設定した定義が表示されます。

日報→月報のマッピング設定

- 日報の定義のクラスターと月報の定義の表の列をマッピングします。
- 定義作成時に日報日付クラスターとして設定したクラスターは必ずマッピングする必要があります。
- **その他マッピング設定の詳細についてはN:1の手順と同じです。そちらを参照ください。**

帳票定義 入力帳票 データ出力 自動帳票作成 ラベル管理 図書管理 スケジュール カスタムマスター カスタムメニュー バインダー システム管理

帳票定義 入力帳票 データ出力 自動帳票作成 ラベル管理 図書管理 スケジュール カスタムマスター カスタムメニュー バインダー システム管理

帳票間のマッピング設定

N:1 日報→週報 日報→月報

戻る すべてクリアして保存 保存

作成元の帳票定義:
日報サンプル1

作成する帳票定義:
月報サンプル1

1:月報

列	マッピング情報	アプリで編集
<input checked="" type="radio"/> 0:日付 (CalendarDate)	2:日付 (CalendarDate) 日報サンプル1 (シート1)	<input checked="" type="radio"/> しない <input type="button" value="クリア"/>
<input type="radio"/> 1:作業時間 (InputNumeric)		

作成元の帳票定義:
日報サンプル1

No.	日付	作業時間
0		
1		
2		
3		

作成する帳票定義:
月報サンプル1

No.	日付	作業時間
1	0	1
2		
3		

「日報」の帳票定義のクラスターが表示されます。

帳票定義作成時に「月報の表番号」に設定した表のクラスターが表示されます。

手順4

ConMas Managerで
「日報→週報・月報」の
バインダーマスターから
バインダーを作成する

日報→週報のバインダーの作成

- バインダーマスター一覧から、タイプが日報→週報の作成ボタンをクリックします。
- バインダー作成画面が表示されます。
- バインダー作成の方法は、自動帳票作成でバインドのみです。
- バインダー名～アイコンまでの設定についてはN:1の手順を参照ください。

帳票定義	入力帳票	データ出力	自動帳票作成	ラベル管理
バインダーマスター一覧				
ID	バインダーの作成	バインダーマスター操作	バインダーマスター名	
74	<input type="button" value="作成"/>	<input type="button" value="編集"/> <input type="button" value="コピー"/> <input type="button" value="削除"/>	月報テスト1	
73	<input type="button" value="作成"/>	<input type="button" value="編集"/> <input type="button" value="コピー"/> <input type="button" value="削除"/>	週報テスト1	

帳票定義	入力帳票	データ出力	自動帳票作成	ラベル管理	図書管理	スケジュール	カスタムマスター	カスタムメニュー	バインダー	システム管理
自動帳票作成でバインド										
作成元の帳票定義						作成する帳票定義				
• ID:1200 日報サンプル1						• ID:1201 週報サンプル1				
バインダー名		<input type="text"/>								<input type="button" value="初期値セット"/>
ラベルを作成する		<input checked="" type="checkbox"/>								
親ラベル		<input type="button" value="クリア"/>								
アイコン		<input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/>								
作成月		2021年 3月 日		曜日始まり		<input type="button" value="作成週設定"/>				
作成週		第 1 週		<input type="text"/> ~ <input type="text"/>		<input type="button" value="削除"/>				
		第 2 週		<input type="text"/> ~ <input type="text"/>		<input type="button" value="削除"/>				
		第 3 週		<input type="text"/> ~ <input type="text"/>		<input type="button" value="削除"/>				
		第 4 週		<input type="text"/> ~ <input type="text"/>		<input type="button" value="削除"/>				
		第 5 週		<input type="text"/> ~ <input type="text"/>		<input type="button" value="削除"/>				
作成除外条件		<input type="checkbox"/> 次の曜日の日報・週報は作成しない <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土								
		<input type="checkbox"/> 次の日付の日報・週報は作成しない <input type="text"/>								
		<input type="checkbox"/> スケジュールで設定した祝日の日報・週報は作成しない								
<input type="button" value="戻る"/>		<input type="button" value="作成"/>								

日報→週報の作成週の設定

- 作成月の年、月、開始曜日を入力して作成週の設定をクリックすると、作成週の日付が自動でセットされます。
- 作成週の開始日付と終了日付の入力されている行がバインダー作成の対象となります。
- 1週につき1バインダー作成されます。
- 作成週の日付は手動で入力できます。削除ボタンをクリックすると日付がクリアされます。
- 週番号には任意の文字を入力できます。
- 1週あたり1日～7日までの日付範囲が設定可能です。
- バインダーを作成すると、日報の帳票の日報日付クラスターに指定したクラスターと、そのマッピング先の週報の帳票の列には、自動で日付が設定されます。

作成月	2021年 3月 日	曜日始まり	作成週設定
作成週	第 1 週	~	削除
	第 2 週	~	削除
	第 3 週	~	削除
	第 4 週	~	削除
	第 5 週	~	削除



作成月	2021年 3月 日	曜日始まり	作成週設定
作成週	第 1 週	2021/03/01 ~ 2021/03/06	削除
	第 2 週	2021/03/07 ~ 2021/03/13	削除
	第 3 週	2021/03/14 ~ 2021/03/20	削除
	第 4 週	2021/03/21 ~ 2021/03/27	削除
	第 5 週	2021/03/28 ~ 2021/03/31	削除

日報→週報の作成日付の除外条件設定

- 作成除外条件を指定すると条件に一致した日付の日報、週報が作成対象外となります。
- 各条件はOR条件で適用されます。
- 日付指定は繰り返し入力することで、複数の日付を指定できます。
- 祝日指定はスケジュール画面の祝日設定で登録された日付が対象となります。
- 除外条件によって1週あたりの作成対象日が0日になる場合はエラーとなり作成できません。

作成除外条件	<input checked="" type="checkbox"/> 次の曜日の日報・週報は作成しない <input checked="" type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input checked="" type="checkbox"/> 土
	<input checked="" type="checkbox"/> 次の日付の日報・週報は作成しない <input type="text" value="2021/03/05,2021/03/06"/>
	<input checked="" type="checkbox"/> スケジュールで設定した祝日の日報・週報は作成しない

日報→週報の作成週の設定例

例①

- 第1週と第3週の2バインダーが作成される

作成月	2021年 3月 日	▼ 曜日始まり	作成週設定
作成週	第 1 週	2021/02/28 ~	2021/03/06 削除
	第 2 週	~	削除
	第 3 週	2021/03/14 ~	2021/03/20 削除
	第 4 週	~	削除
	第 5 週	~	削除



バインダー1

日報
2021/03/06

週報
2021/02/28
2021/03/01
...
2021/03/06

バインダー2

日報
2021/03/20

週報
2021/03/14
2021/03/15
...
2021/03/20

例②

- 除外条件で日曜、土曜、2021/03/04、2021/03/05、2021/03/06が対象外となる

作成月	2021年 3月 日	▼ 曜日始まり	作成週設定
作成週	第 1 週	2021/02/28 ~	2021/03/06 削除
	第 2 週	~	削除
	第 3 週	2021/03/14 ~	2021/03/20 削除
	第 4 週	~	削除
	第 5 週	~	削除
作成除外条件	<input checked="" type="checkbox"/> 次の曜日の日報・週報は作成しない <input checked="" type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input checked="" type="checkbox"/> 土		
	<input checked="" type="checkbox"/> 次の日付の日報・週報は作成しない <input type="text" value="2021/03/04,2021/03/05,2021/03/06"/>		
	<input type="checkbox"/> スケジュールで設定した祝日の日報・週報は作成しない		



バインダー1

日報
2021/02/28
2021/03/01
2021/03/06

週報
2021/03/01
2021/03/02
2021/03/03

バインダー2

日報
2021/02/28
2021/03/01
2021/03/19

週報
2021/03/15
2021/03/16
...
2021/03/19

日報→月報のバインダーの作成

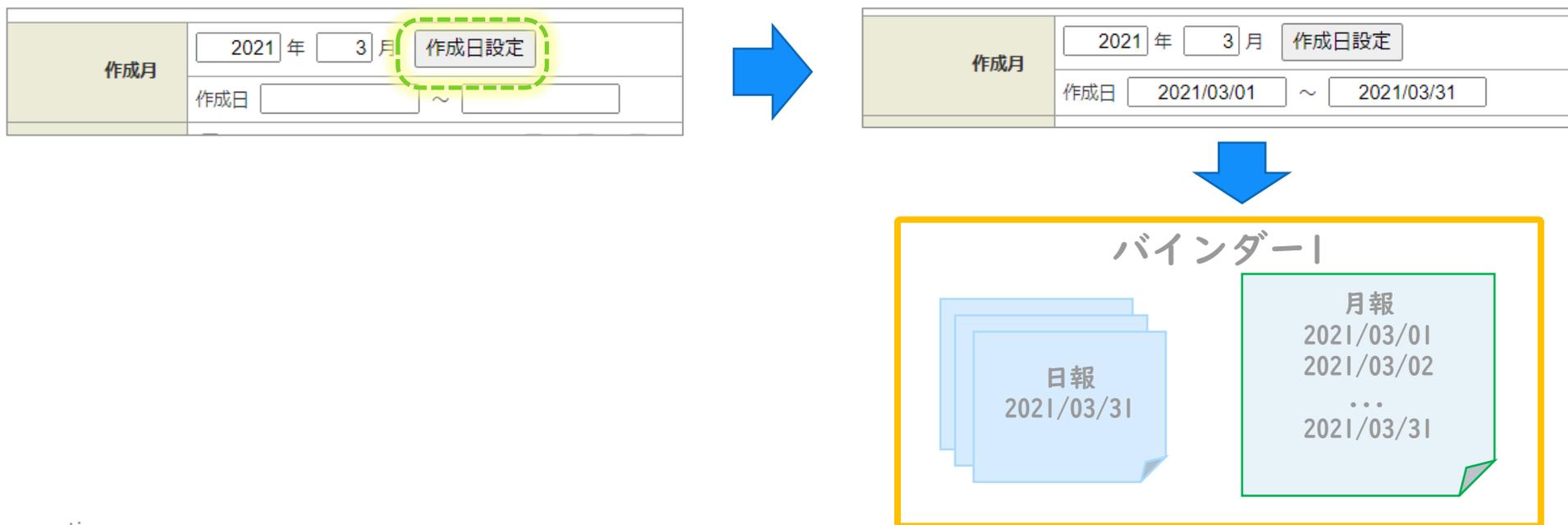
- バインダーマスター一覧から、タイプが日報→月報の作成ボタンをクリックします。
- バインダー作成画面が表示されます。
- バインダー作成の方法は、自動帳票作成でバインドのみです。
- バインダー名～アイコンまでの設定についてはN:1の手順を参照ください。

帳票定義	入力帳票	データ出力	自動帳票作成	ラベル管理	図書管理	スケジュール	カスタムマスター	カスタムメニュー	バインダー
バインダーマスター一覧									
ID	バインダーの作成	バインダーマスター操作			バインダーマスター名				
74	作成	編集	コピー	削除	月報テスト1				
73	作成	編集	コピー	削除	週報テスト1				

帳票定義	入力帳票	データ出力	自動帳票作成	ラベル管理	図書管理	スケジュール	カスタムマスター	カスタムメニュー	バインダー	システム管理
自動帳票作成でバインド										
作成元の帳票定義						作成する帳票定義				
• ID:1200 日報サンプル1						• ID:1202 月報サンプル1				
バインダー名										初期値セット
ラベルを作成する										<input checked="" type="checkbox"/>
親ラベル										クリア
アイコン										<input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/>
作成月										2021年 3月 作成日設定
作成日										作成日 [] ~ []
作成除外条件										<input type="checkbox"/> 次の曜日の日報・月報は作成しない <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="checkbox"/> 次の日付の日報・月報は作成しない [] <input type="checkbox"/> スケジュールで設定した祝日の日報・月報は作成しない
戻る										作成

日報→月報の作成月の設定

- 作成月の年、月を入力して作成日設定をクリックすると、作成日が自動でセットされます。
- 1月につき1バインダー作成されます。
- 作成日の日付は手動で入力できます。
- 1月あたり1日～31日までの日付範囲が設定可能です。
- バインダーを作成すると、日報の帳票の日報日付クラスターに指定したクラスターと、そのマッピング先の月報の帳票の列には、自動で日付が設定されます。
- 作成除外条件の設定は日報→週報の場合と同様です。日報→週報の手順を参照ください。



日報→週報・月報で初期値ファイルを使用する

- N:1の場合と同様に、初期値ファイルをアップロードして日報の帳票に初期値を設定できます。
- 初期値ファイルには、作成週・作成月で指定した作成対象の日数分の帳票を用意してください。
- 初期値ファイルには、日報日付クラスターに指定したクラスターの値に作成週、作成月で指定した作成対象日を設定してください。
- その他の設定については、P.35 自動帳票作成時に初期値をセットするを参照ください。

注意事項

- 作成元、作成先に指定する帳票定義の元定義（Rev.1の定義）は削除しないでください。バインダー作成時にRev.1が無い定義はバインダー設定できません。また、バインダー作成後にRev.1を削除すると正常に動作しません。

帳票定義	入力帳票	データ出力	自動帳票作成	ラベル管理	図書管理	スケジュール	カスタムマスター	カスタムメニュー	バインダー	システム管理
------	------	-------	--------	-------	------	--------	----------	----------	-------	--------

N:1	日報→週報	日報→月報	帳票間のマッピング設定
-----	-------	-------	-------------

バインダーマスター名	<input type="text"/>
作成する帳票の編集ステータス	<input checked="" type="radio"/> 編集集中にする <input type="radio"/> 作成元の帳票を全て完了したら完了にする

作成元の帳票定義を選択	→	作成する帳票定義を選択
-------------	---	-------------